

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課

☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【美津島町大山】

『美津島町誌』によると、地名は大山嶽に由来しています。「おやま」という読みは、山岳信仰の「御山」に由来しており、大山嶽は嶽大明神の御神体となっています。標高の低い丘陵地帯が広がる浅茅湾沿岸において、大山嶽は標高187・6メートルと一際高く、目立つ山です。

奈良時代に編さんされた万葉集には、新羅に派遣される使節が、浅茅湾で潮待ちをしている時に詠んだ次の歌が残されています。

「百船の泊つる
つしまの浅茅山
しぐれの雨にも
みたひにけり」

【美津島町小船越】

先月号で紹介した大船越の由来と同じく、小船越地区も浅茅湾と対馬海峡に挟まれた「地峡」と呼ばれる地形をした場所です。

古来、遣唐使や遣新羅使などの使節団は、小船越で一旦船を陸揚げして丘を越えるか、もしくは「西の漕出」に泊めていた別の船に乗り換えるなどして、日本海側から浅茅湾を通って東シナ海側へ横断していました。中世の古文書の多くには、「船越」と記録されています。一方、同じ時代の記録では現在の大船越地区は既に「大船越」と記録していたことから、後の時代に大船越に対して小船越と称するようになったと考えられています。

くは小舟のことを「鴨」と呼んでおり、鴨居瀬とはそうした船がたくさん集る場所という意味であると伝えられています。

中世以降、九州本土から朝鮮へ渡る船の多くは、まず鴨居瀬に着き、同じ湾内の最奥の小船越に進み、西の漕出を抜けて、浅茅湾へ向かうというルートを取っていたことから分かるように、鴨居瀬が天然の良港であったことを物語っています。



美津島町鴨居瀬・赤島大橋

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

●図書館の利用方法

図書館での本の貸出し、インターネット、DVD視聴には図書館カードの作成が必要です。詳しくは図書館へお尋ねください。

●子ども読書週間

特集コーナーを設置しています。ぜひ読んでみてください。
期間：4月23日～5月12日

5月の休館日

■休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

今月のおすすめ新着本

『江ノ島西浦写真館』

三上 延／著

館主の死により幕を閉じた「江ノ島西浦写真館」。祖母の遺品整理のため写真館を訪れた桂木蘭は「未渡し写真」の束を見つけ、注文主に返していくが…。

『ヘアアレンジの便利帳』

工藤 由布／著

基本のヘアアレンジテクニックからシーン別スペシャルアレンジ、手作りヘアアクセの作り方などを、手とり足とり解説します。

『ごきげんで生きる48の方法』

大谷 由里子／著

たった1分でも笑顔に戻れるコツを知ってる人は強い！元吉本興業マネージャーが、1万人を超える人の人生を見たなかでつかんだ「ごきげん力」とは？

『イヌとネコのふしぎ101』

武内 ゆかり／著

毎日のように見かける、いちばん身近な動物・イヌとネコについての101の素朴な疑問に、一問一答でズバリと答える本。

『ポテトむらのコロツケまつり』

竹下 文子／文

たくさんとれたじゃがいもを見て、ポテトおばさんは考えました。「なにかびっくりするような面白いことではできないかしら？」

『わたしたちのカノン』

中村 天音／著

ピアノが好きな中学1年生・桐野結は、孤高のバイオリニスト・九能アキラ、天才チェリスト・美山奏とピアノ三重奏を結成。個性豊かなメンバーとの合奏に結は…。